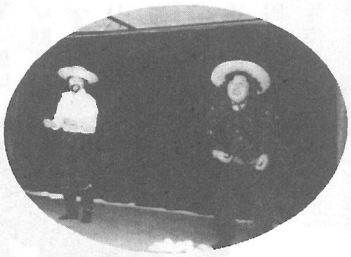
ひろば

名演技大うけ

婦人会老人ホームを訪問

2月2日（金）、町婦人会（佐久間とく会長）20余名のみなさんは、老人ホームのおじいちゃんおばあちゃんを訪問しました。

寮母さんも加わって歌や踊りを披露しましたが、中でも今流行の「麦畑」を踊った実川勝子さん、伊藤恵美子さんの名演技は大ウケ、最高でした。



練習したかいもあって拍手かっさいの「麦畑」

おとうさん打ち込んでますね

敵もさるもの、なかなかじゃ

町民将棋大会 囲碁大会

第27回目の町民将棋大会が1月21日（日）、町民囲碁大会が2月4日（日）に町文化会館で開かれました。

公民館クラブで腕をみがき上げたみなさんは日頃の成果を発揮し、熱い戦いをくりひろげました。

大会結果は次のとおりです。

〈敬称略〉

★町民将棋大会入賞者

優　勝　大木　勇
準優勝　石田　孝
第3位　藤代信夫
第4位　油谷正光
第5位　菅沢正夫

★町民囲碁大会入賞者

優　勝　岡田雅美
準優勝　鈴木允直
第3位　玉虫　武
第4位　砂子弥一郎
第5位　熱田　勉

文芸

俳句

薄氷は今朝の話題となりにけり　伊藤　啾霜

棟梁が棟木を見上げふところ手　萩原　信一

小春日や聞き役となる縁の先　鈴木　草庵

バケツ中塵をくわへし薄氷　鈴木　南知

ふところに匂ひ袋や浅き春　戸村　静華

言ひ勝てど募る寂しさ隙間風　行方はじめ

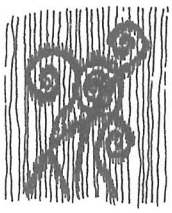
祖母の手に炒られてぬくし年の豆　藤代　ゆう

蓮根掘り泥田の中はぬくしと言う　山口　一秋

薬袋の裏にメモする炬燵中　若梅あやめ

澄まし汁に浮く芹の香や春浅く

（選者）土屋　栗水



短歌

ひもときの娘の帯ほどき吾が妻は刀の袋縫ひてくれたり

（故）久保田　博

この頃はうるさがられる事のあり一人子ゆゑに干渉過ぎしか

斉藤　佳子

老い母は静脈ふくれし両の手にあられ切りゆくリズム崩さず

斉藤　幸子

池の面に雨打つ小さき波紋たち底ひの鯉の身動ぎもせず

佐瀬　初音

編みものにひたすら励む少女ゐて列車にいつか日射の和む

津田　若菜

大喪あけ七草粥の緑濃くほのぼのとせるを箸もて食ぶ

土屋　栗水

池の面にフラミンゴ朱の影ゆらし夢色となるわれの心は

西山満里子

急行に乗りかへ急ぎ戻りくるたれも待つなき家路に向ひ

萩原　信一

枕辺に孫と添ひ寝の縫ひぐるみ寝息たつるをじっとみてゐつ

吉岡　信子

篝焚く疫病よけの里行事老ひほそぼそと守り続くる

（選者）斎藤つね子